

# Ebb & Flow 方式の鉢物生産におけるピシウム病害の生態と防除

(本文 7 ページ参照)



①ポインセチアの単一品目生産



②観葉植物の多品目生産



③病原菌無接種区の様子 (接種 19 日後)  
左: 養液単用区, 右: 固形肥料併用区



④病原菌接種区の様子 (接種 19 日後)  
左: 養液単用区, 右: 固形肥料併用区



⑤病原菌無接種区の様子 (接種 12 日後)  
左: 養液単用区, 右: 固形肥料併用区

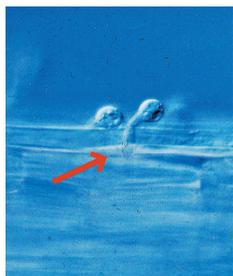


⑥病原菌接種区の様子 (接種 12 日後)  
左: 養液単用区, 右: 固形肥料併用区

渡辺秀樹氏原図

# 養液栽培における *Pythium* 根腐病の発生生態と防除

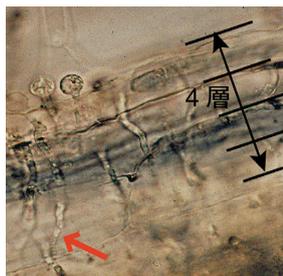
(本文 12 ページ参照)



①小苗定植 10 分後で遊走子が附着し発芽している



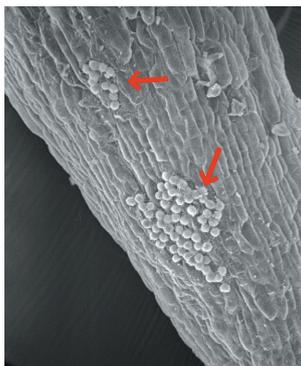
②定植 1 時間後で発芽管は細胞 2 層を貫通している



③4 時間後で 4 層を通過している



④キュウリの根に対する遊走子の感染部位 (根冠やや上部)



⑤走査電子顕微鏡による根の表面の遊走子附着状況 (集塊を作る)



⑥抗菌フィルターによるトマト根腐病の防除効果

上: 抗菌フィルターを設置した栽培装置と観光栽培装置における防除効果

左側の装置は、銀担持抗菌フィルターを設置した区で、発病がみられない  
右側の装置は、観光の栽培装置で根腐病によりトマトは枯死している

下: 銀担持抗菌フィルター (バクテリアン Ag: 金井重要工業製)

草刈真一氏原図

## ショウガ根茎腐敗病とその防除

(本文 23 ページ参照)



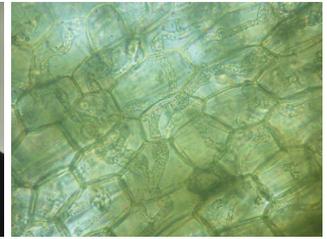
①ショウガ根茎腐敗病の初期病徴（地際部の偽茎に暗緑色水浸状の変色を生じる）



②ショウガ根茎腐敗病の病徴（偽茎は黄化し、株は立枯症状となりやがて倒伏する）



③ショウガ根茎の病徴（根茎表面が淡褐色～暗黒色水浸状を呈する）



④罹病根茎の細胞組織内における病原菌の菌糸

山崎睦子氏原図

## ベニバナインゲンに発生するピシウム病とその防除

(本文 28 ページ参照)



①茎根腐病病徴



②茎根腐病病徴



③綿腐病病徴



④綿腐病病徴



⑤綿腐病病徴



⑥収穫皆無となった綿腐病被害圃場

渡邊 健氏原図

## 近年記録された野菜・花きのピシウム新病害

(本文 39 ページ参照)



①アシタバ根腐病（左上：褐変した根）  
（竹内 純氏原図）



②イチゴピシウム根腐病（右下：黒変した根）  
（鈴木幹彦氏原図）



③ナス根腐病  
（岡田清嗣氏原図）



④キク立枯病  
(築尾嘉章氏原図)



⑤センニチコウ立枯病  
(梶谷裕二氏原図)



⑥デルフィニウム苗立枯病 (右下:組織内の卵胞子)  
(菅原 敬氏原図)



⑦ブーバルジア根腐病 (右下:地際部および根の褐変)  
(竹内 純氏原図)



⑧ペチュニア立枯病  
(岡田清嗣氏原図)



⑨シャクナゲ苗立枯病  
(築尾嘉章氏原図)

## チャバネアオカメムシにおける幼若ホルモン (JHSB<sub>3</sub>) の構造決定と害虫管理への応用の可能性

(本文 56 ページ参照)



A



B



C

チャバネアオカメムシ終齢幼虫 (A), 成虫 (B) および JH 処理によって得られた幼虫-成虫中間体 (C)。スケールバー: 5 mm

小瀬豊美氏原図